

PVの会平成15年度総会 活動計画決まる

PVの会では平成15年4月5日(土) 宮島町役場会議室に於いて平成15年度総会を開催しました。出席会員30名、委任状提出者9名でした。

出席会員 足立 池下 岩崎 小方ペア 島 新川 末原 高光 竹内 谷口 田村 中本
名越 東丸 平田 平山 前田(勲) 前田(正) 舩田 松尾 丸平 宮崎 村上
森広 安井 矢吹 山根 横山 吉川
委任状 近藤 野呂田 浜本 佛崎 古川 本田 森 森川 六重部

定刻10:30に開会、最初に横山会長、桧垣自然保護官から、ご挨拶があり、引き続き出席会員の自己紹介のあと、議事に入りました。

(1) 総会の成立

出席者と委任状の合計が39名で4月1日現在の会員数47名(1名除名)の半数以上となり会則の規定どおり総会は成立しました。

(2) 14年度活動状況報告

「資料」平成14年度宮島地区パークボランティアの会活動状況にもとづいて説明がなされました。

(3) 14年度PVの会決算

平成14年度PVの会決算について末原会計役員から決算書の説明があり、平山監査員から会計監査の結果、適性に処理されている旨の報告がなされました。本件異議なく承認されました。

(4) 15年度活動計画

会長、各部会長から平成15年度の活動計画について説明がなされました。内容は14年度とほぼ同じですが、今年は宮島でPV交流会が開かれるので成功させるためにも会員の絶大な協力が必要であり、できるだけ多くの会員に参

加してほしいと要望されました。JPRの支援活動その他について意見、質疑が出されましたが、原案通り承認されました。

(5) 会則の改正、会費の徴収

ボランティア自身の活動経費は環境省で負担出来ないことが明確になったことからPV年会費1,000円を徴収することとした会則の改正について提案されました。

会費ではなく例えば活動費にしたらどうかなど種々意見が出されましたが、趣旨には賛成、承認されました。

(会則の改正された項目)

第10条 本会の経費は、会員からの年会費(別に定める)、助成金その他をもってあてる。

(6) 15年度PVの会予算案

平成15年度宮島地区PVの会予算案について説明があり、総額194千円の予算が承認されました。

(7) その他

総会終了後の美化清掃活動は「小なきり浜」で実施しました。(本号 P4参照)



役場会議室での平成15年度総会

◇市原所長からのメッセージ◇

行政とパークボランティア とのパートナーシップ

環境省山陽四国地区自然保護事務所長

市原 信男

宮島地区パークボランティアの会は平成12年6月に設立されてから、3年間様々な活動を積極的に展開され、各方面から高い評価を受けています。私からも国立公園の保護管理及び適正な利用促進のための目を見張るような素晴らしい成果に対し心より感謝を申し上げます。

このため昨年度末には、宮島町のご配慮もあって宮島栈橋の2Fに「広島自然保護官詰所」を設置することができました。これはボランティアの活動をより円滑かつ活発に展開できるようにしたもので、できるだけ早く「宮島地区パークボランティアの会事務局」の看板も掲げてほしいと思います。

ここを拠点にボランティア同士又は一般利用者との交流を図るとともに、宮島に関する情報をインターネット HP(<http://www.sizenken.biodic.go.jp/park/sanyoshikoku>)などから発信することを期待しています。

近年、市民やNPOの活動が注目されています、特に一般とのコミュニケーションが不得手な行政と公園利用者の橋渡しに大きな期待がかかっています。パートナーシップは互いの得意とするところを出し合い、一緒になって少しでも目標に向かっていくことです。

このような協力関係を築くには常日頃の対話が欠かせません。それも対等な立場での率直な対話が必要です。その上で同じ目標に向かって互いの信念に基づいて自主的、積極的に活動を展開していきましょう。そうすれば行政とボランティア団体は、パートナーシップ精神に基づいて互いに必要な支援を続けていくことができるのだと思います。

最後にくれぐれも事故のないように、無理をしないで、そして楽しく活動ができますよう祈念いたします。



大久野島 VC で挨拶される市原所長

環境省人事 (4月1日付 関係分)

地区事務所次長 (新) 秀田 智彦 (九州地区自然保護事務所から)
(前) 佐山 浩 (環境省自然環境局総務課へ)

3地区 PV 交流会 9月27・28日

瀬戸内海3地区PV交流会が山陽四国地区自然保護事務所の主催で9月27(土)28(日)の2日間宮島(国民宿舎 杜の宿)で開催されます。

9月27日午後 交流会、意見交換
夜 懇親会 宿泊

9月28日午前 弥山登山または宮島散策

◎ 会員の多数の参加を期待しています。



PV 交流会場の“杜の宿”

小なきり浜の清掃大作戦

収集したゴミ230kg

日 時 4月5日(土) 総会終了後

参加者 計25名

池下 岩崎 小方ペア 小川 島 新川
末原 高光 谷口 田村 中本 名越
東丸 平田 平山 前田(正) 舛田 松尾
宮崎 村上 森広 矢吹 横山 吉川

今年の総会後の清掃活動は市街地や登山道等ではなく昨年5月、田中先生を、お招きして海藻観察を行った「小なきり浜」周辺で実施しました。

浜辺にはハマゴウなどの塩生植物、湿地帯には多くのハンゲショウが芽吹いており、貴重な植物観察ポイントですが、波打ち際から背後の湿地帯にかけて発泡スチロールなどの漂着ゴミが夥しい量になっています。



収集したトラック一杯のゴミ



「小なきり浜」清掃作業の参加者



環境整備

ゴム長靴でないと動けない湿地やホウロクイチゴの太い刺々つるの下に潜り込んだスチロール碎片などのため作業は相当難渋しましたが、皆さんの頑張りで2時間もすると、トラック一杯になる大量のゴミを回収することができました。

もちろん全部は取りきれませんでしたでしたが、あと1, 2回続ければ、この一帯が見違えるほど綺麗になるものと思われます。(松尾 記)

樹木名板取り付け

アセビ歩道の150本余

日時 平成15年3月4日(火)

集合 13:30 大元公園

参加者 池下 島 新川 末原 谷口 中本
平山 前田(勲) 前田(正) 森 森広
安井 柳瀬 矢吹 14名

作業指導 広大実験所 豊原先生 向井技官

当初2月22日(土)に計画していましたが、悪天候のため中止となり、指導していただく豊原先生、向井技官のご都合から急遽平日の3月4日(火)に実施しました。

取り付け方式は最も樹木へのダメージが少ないとされている、釘打ち付け方式(広大実験所敷地内では実施済み)で小さい木についてはワイヤー

◇お知らせ◇

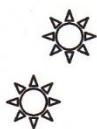
次号発行日 9月1日

原稿締切日 7月末日

(会員の皆様の投稿をお待ちしています。)

◆訂正◆「みせん」11号3頁幹事紹介で松尾健二とあるのは健司の誤りでした。

ボランティア



鷹ノ巣砲台跡の清掃、整理

第3回 進入路、監視所跡を整備

日 時 5月24日(土) 9:00~15:00
参加者 桧垣保護官

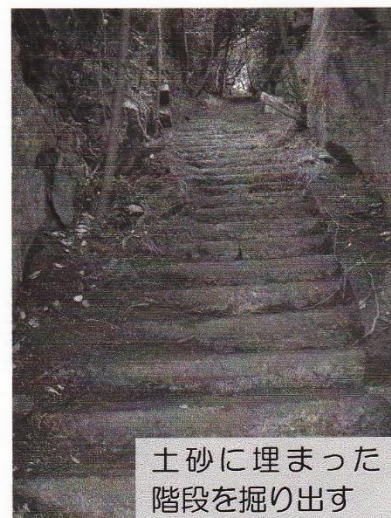
足立 島 末原 中道 中本 名越
浜本 平田 平山 古川 本田 前田
(正)丸平 宮崎 村上 森 森川
安井 矢吹 横山 PV 20名

昨年5月から約1年振りに第3回の清掃、整理を実施しました。昨年の2回は砲台礎石まわりをメインに清掃、整理しましたが、今回は進入路の整備と山頂監視所跡の整備を重点的に行いました。

進入路は約800mに亘って、全面シダで覆われていましたが予め末原さんが、1週間かけて伐採したあとを手分けして整理、地ならしを行いRV車なら進入できるほどに整備されました。

無数の雑木で視界が遮られていた山頂の監視所跡は、枯れ木や雑木を伐採することで美しい瀬戸の海の展望が開けるほどになりました。

頂上への長い階段も積もった土砂や倒木を取り除き、ずいぶん綺麗になりましたが、途中決壊箇所があり、修復は今後の検討課題です。



土砂に埋まった階段を掘り出す



釘打ち付け方式

による吊り下げ方式としました。

限られた時間でしたが大元公園から大聖院までのアセビ歩道沿いに植えられている樹木33種154本に名板を取り付けることが出来ました。これからアセビ歩道を散策する人に植物に対する興味、関心を持たせ観察に大いに役立つものと思われれます。



小木には吊り下げ方式

次回は6月22日(日)に宮島栈橋から大聖院までのウグイス道沿いの樹木に名板を取り付ける予定ですので多数の会員の参加を期待しています。(末原 記)



清掃、整理作業参加者→

春の植物観察会 弥山尾根筋道を探索

大砂利道では新たなスポット発見

日時 4月26日(土)9:00 宮島栈橋集合
参加者 足立 池下 小方ペア 小川 新川
高光 平山 前田(勲) 前田(正) 舛田
村上 矢吹 六重部 14名 会員の家族2名

弥山の3つの登山道は、すべて谷筋にあります。パークボランティア活動の行動範囲を広げ自然観察の知見を広めるため今年には新たに3つの尾根筋道を探索することを計画しました。



大砂利地蔵の前には水量豊富な滝が



今回はその1回目として博打尾から三ツ石の尾根を上り、下りは駒ケ林～多宝塔の尾根を歩き

期待通りの眺望と新しい出会いを満喫しました。特に上りでは途中から少し脇道に入って岩ばしる垂水(滝)の前で大砂利地蔵さんを、下りでは大岩の下に鎮座されている朝日観音を拝し、あらためて宮島が信仰の島であることを実感しました。(村上 記)

雨中の植物研修会

楽しいバーベキュー

日時 5月11日(日) 9:00 宮島栈橋集合
参加者 足立 池下 小方ペア 小川 島
末原 高光 野呂田 松尾 村上 計11名
前日までの晴天が夜半から一転して雨模様。実施するか否か、ハムレットの心境でしたが案内文の「小雨実施」を拠りどころに決行することとしました(これが小雨?という声もありましたが)

栈橋から室浜の廣大実験所まで6km 1.5hr 雨にうたれた美しい新緑もまた格別でした。室浜到着後豊原先生から「宮島の植生の特徴」について講義していただきコシダ、アカマツ、ミズバイなどの棲み分けと植物の栄枯盛衰について理解を深めることができました。

このあと予想通り雨もあがり、楽しみにしていたバーベキューで舌鼓・・・

午後は実験所内の見晴岩で大野瀬戸の眺望とエリア内の植物観察で充実した1日でした。

実験所の豊原先生、向井さん、それに学生さん、貴重な休日に我々のために時間を割いていただき、大変お世話になりました。有難うございました。(村上 記)



雨も上がりバーベキュー

投稿

『シャクジョウ』という名の花

池下 宏

弥山頂上近くの霊火堂前に、弘法大師ゆかりの“錫丈の梅”があることは本紙でも何度か紹介されています。今年も3月下旬には見事に美しい花が咲きました。今回は同じ錫丈（シャクジョウ）という名を持つ植物についての話です。

1、ヒナノシャクジョウ

本種は絶滅危惧種に指定されている。昨年8月、広大向井技官に案内されて観察の機会を持ちました。場所は藤の棚からもみじ谷に向かう小道沿いの崖地で、ヒメハシゴシダの群生の中、真っ白い可憐な姿でひっそりと生育していました。本当に小さくて指差されて始めて分かるほどです。長さ30~50mm茎の



ヒナノシャクジョウ

頂部に数個の筒状の花をつけておりました。ひなのしゃくじょう科ヒナノシャクジョウ属の植物。葉緑素を持たない腐生植物で葉は鱗片状が目立たない。

2、シャクジョウソウ

本種に初めて出会ったのは、富士山五合目から山梨県側へ下山の途中だった。針葉樹林帯でおかしなギンリョウソウを見つけた。何がおかしいかというと、いやに痩せて、黄色く、一つの茎に数個の鐘型の花がついている。後で調べてシャクジョウソウと分かり納得した記憶がある。



シャクジョウソウ

いちやくそう科ギンリョウソウ属の腐生植物である。茎の高さ10~20cm、花の長さ10mm。英名はDUTCHMAN'S PIPE オランダ人のパイプというナンバンギセルを思い出させるが全く別種である。

3、ヤマノカミノシャクジョウ

雛があり、並があるなら、更に大型はなんだろうかというので探したところありました。らん科ツチアケビ属ツチアケビの別名がヤマノカミノシャクジョウです。

茎の高さ50~100cm 名の由来は花ではなく実からきたもので、赤いアケビに見立てたものが和名になっている。しかし赤色がどぎついでむしろ別名のほうがイメージに合っているような感じである。



ヤマノカミノシャクジョウ

これも宮島にあることになっているが、私自身は見えない。大野自然観察の森では数箇所で見られている。広島他の山でも時々見るので、稀少というほどのものではない。

◆◆ 編集後記 ◆◆

▼今春、ベトナム旅行で世界遺産のハロン湾をクルージングしました。大小幾千もの奇岩がそそり立つ景観は海の“桂林”といわれるだけに、自然の創りだした芸術に圧倒されました。しかしハロン湾への道路をバスで通ったとき道の両側に捨てられているゴミの多さは、ひどいもので、せっかくの観光の前に不快感が先にきました。ゴミも「小なきり浜」と同じようにスチロールや空き缶が目立ちました。▼今年も8月3日に自然公園クリーンデイが実施されますが、世界遺産「宮島」の来訪者が快適に滞在して貰うのに、PVの清掃活動は益々価値あるものになると思います。(足立)

◇ 事務局連絡事項 ◇

PV行事参加者一覧

NO	氏名	①	②	③	④	⑤	⑥
2	足立 清		○		○	○	○
3	池下 宏	○	○	○	○	○	
4	池田 靖夫						
6	岩崎 義一		○	○			
7	小方 為子		○	○	○	○	
8	小方 嗣彬		○	○	○	○	
9	小川 加代			○	○	○	
13	近藤 芳子		*				
14	島 千代喜	○	○	○		○	○
15	新川 博	○	○	○	○		
16	末原 義秋	○	○	○		○	○
17	高光 幸三		○	○	○	○	
18	竹内 栄太郎		○				
19	谷口 和昭	○	○	○			
20	田村 博子		○	○			
21	中道 勉						○
22	中本 章治	○	○	○			○
23	名越 正子		○	○			○
24	野呂田 恵子		*			○	
25	花見堂 英延						
26	浜本 良子		*				○
27	東丸 久		○	○			
28	平田 広三郎		○	○			○
29	平山 美知子	○	○	○	○		○
30	佛崎 勝弘		*				
31	古川 義文		*				○
32	本田 隆徳		*				○
33	前田 勲	○	○		○		
34	前田 正人	○	○	○	○		○
35	舛田 祐子		○	○	○		
36	松尾 健司		○	○		○	
37	丸平 健二		○				○
38	宮崎 春雄		○	○			○
39	村上 光春		○	○	○	○	○
40	森 明彦	○	*				○
41	森川 範吾		*				○
42	森広 香代子	○	○	○			
43	安井 一幸	○	○				○
44	柳瀬 佳史	○					
45	矢吹 浚一	○	○	○	○		○
46	山根 浩二		○				
47	横山 忠司		○	○			○
48	吉川 直樹		○	○			
49	六重部 篤志		*		○		
		14	30	25	14	11	20
	桧垣自然保護官		○				○

- ①樹木名板取り付け 3/4 (火)
- ②平成15年度総会 4/5 (土)
- ③小なきり浜清掃 4/5 (土)
- ④弥山植物観察 4/26 (土)
- ⑤自主研修観察 5/11 (日)
- ⑥鷹ノ巣砲台跡清掃 5/24 (土)

◇ 行 事 予 定 ◇

- 自主研修会 (野鳥観察)
 - 6月8日 (日) 9:00 詰所集合
- 三高 (沖美町) 砲台山探訪
 - 6月14日 (土) 9:00 宮島口集合
- 樹木名板取り付け及び保全
 - 6月22日 (日) 9:00 詰所集合
- 第1回JPR 7月5(土)6(日)
 - 於 包ヶ浦自然公園
- 自然公園クリーンデー
 - 8月3日 (日) 9:00~
 - 宮島町内清掃
- 第2回 JPR
 - 8月30日 (土) 31日 (日)
 - 於 大久野島 休暇村
- ◇幹事会の開催予定◇
 - 7月12日 (土) 10:00~
 - 場所 宮島詰所

瀬戸内海国立公園

宮島地区 パークボランティアの会

事務局 環境省自然環境局
広島自然保護官事務所

(〒730-0012)

広島市中区上八丁堀6番30号

広島合同庁舎2号館6階

TEL/(082)223-7450・FAX(082)223-7451

宮島詰所

(〒739-0505) 佐伯郡宮島町 1862-18

(宮島栈橋 2F)

※ 総会出席欄の*印は委任状提出者 (9名)

◆退会者 (4月) 稲村 正寿 甲斐 崇
鍵本 晋一 木下 三郎